

沖縄県宜野湾市

## 地域資源と斬新なアイデアによる商品開発 沖縄県菓子業界及び泡盛業界の活性化の一助を担う

1975年外国製の輸入菓子をラッピングした「キャンディレイ」を創作販売し脚光を浴びる。その後沖縄の伝統菓子である「ちんすこう」にチョコレートをコーティングした「ちんすこうショコラ」を販売。伝統的な沖縄菓子に創意工夫を加え斬新なアイディアで提供する商品は沖縄土産の定番品として好評を得ている。近年は「琉球泡盛」を活用した「泡盛BONBON」を開発し地域資源活用事業に認定、さらに地域未来牽引企業に選定される。

●所在地	沖縄県宜野湾市大山2-21-22
●電話／FAX	098-897-5194／098-897-1030
●URL	<a href="http://www.fashioncandy.co.jp">http://www.fashioncandy.co.jp</a>
●代表者	代表取締役社長 城間 敏光

●設立	1975年
●資本金	8,000万円
●従業員数	139名



### 泡盛BONBONを販売・泡盛業界活性化に大きく貢献

沖縄県産泡盛の生産額・出荷額が10数年減少しているなか、泡盛業界活性化の一助となるべく、沖縄本島・離島を含む全46の泡盛メーカーで製造された琉球泡盛をダークチョコレートで封じ込めた「泡盛BONBON」を販売。沖縄県のラグジュアリーホテルで評価されウェルカムスイーツや土産品として採用されているほか、いまや国民的イベントであるバレンタインデーやホワイトデーの定番商品となっている。バレンタインイベントでは県外大手百貨店に出展。新たな需要を獲得し泡盛業界の振興に寄与している。



泡盛業界活性化に貢献する泡盛BONBON

### 熟成古酒をベースとした「古酒泡盛BONBONショコラ」

チョコレートと熟成古酒のコラボレーションを楽しめるのが「古酒泡盛BONBONショコラ」である。泡盛を3年以上寝かせて熟成させたものを古酒(クース)と呼ぶ。その味わいはまろやかで深く、さらに甘く芳醇な香りへと変化する。各酒造所こだわりの甕や樽などの器、熟成方法の違いが個性となって現れている。泡盛の割り水には沖縄の地下深くより汲みあげた「陸地珊瑚礁浸透古代海水」を使用。「泡盛BONBON」とは違った味が堪能できる。また、包装には泡盛のラベルを使用、見ているだけでも楽しめる。



厳選の熟成古酒泡盛BONBONショコラ

### 商談型人材育成事業に人材派遣、東南アジアの需要開拓

商品開発をきっかけに10数年需要が低迷していた泡盛業界が活性化。泡盛業界全体で需要開拓へと積極的に推進している。沖縄県貿易協会が内閣府から受託し開催している海外展開(貿易)向け「商談型人材育成」事業に中核人材を派遣。台湾や香港、上海等の東南アジア企業と取引・商談すべく商社・物流企业とのプロジェクトに取組んでいる。沖縄県の地域資源である「泡盛」や県産品を活用した高付加価値商品を提供できる可能性を秘めている。菓子業界及び泡盛業界の活性化の一助を担う動きが期待されている。



県外大手百貨店に出展・新たな需要を獲得